

# オルケディア<sup>®</sup>錠を 服用される患者さんへ

監修：横山 啓太郎 先生

(東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 准教授)

- 「オルケディア<sup>®</sup>錠を服用される患者さんへ」は、添付文書全ての内容を網羅しているものではありません。詳細につきましては最新の添付文書をご確認いただき、患者さん個々の病態に併せて服薬指導を行ってください。本書は服薬指導の一助として、オルケディア<sup>®</sup>錠を服用される患者さんにお渡しください。



カルシウム受容体作動薬

劇薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

エボカルセト錠

# オルケディア<sup>®</sup>錠 1mg 2mg

協和発酵キリン株式会社

次の人は、  
この薬を使用することができません。

- 妊娠中または妊娠している可能性のある人

以下に当てはまる方は、  
医師に相談してください。

- 低カルシウム血症※だといわれたことがある人

※ 低カルシウム血症との関連が考えられる症状

- ・心電図の異常
- ・不整脈
- ・しびれ
- ・筋肉のけいれん
- ・気分がすぐれない
- ・意識レベルの低下



- 肝臓が悪いといわれたことがある人
- 授乳中の人

監修：横山 啓太郎 先生

(東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 准教授)

病医院・薬局名

KK-18-03-21700  
OKD0016A18F  
2018年6月作成

協和発酵キリン株式会社

維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症で  
オルケディア®錠を服用される患者さんへ

大切な注意です。必ずお読みください。

1mg



色：黄白色 包装：PTP

2mg



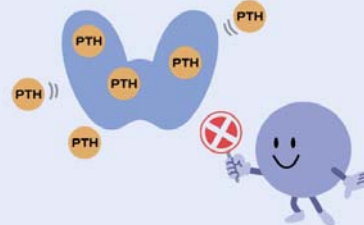
色：淡黄色 包装：PTP

## オルケディア®錠のはたらき

血中の副甲状腺ホルモン(PTH)を下げて、二次性副甲状腺機能亢進症を治療するお薬です。

この薬は、PTHだけでなく、血中のカルシウム(Ca)やリン(P)も低下させる等の作用があります。

	オルケディア®錠
PTH	↓
Ca	↓
P	↓



## オルケディア®錠の飲み方

- 1日1回、ほぼ同じ時刻に服用してください。

理由：この薬は一定の時刻に服用することで安定したPTH低下効果・維持効果が得られることが知られています。

あなたの服用時間  午前：  午後： 時頃

午前、 午後いずれかにを入れてください。

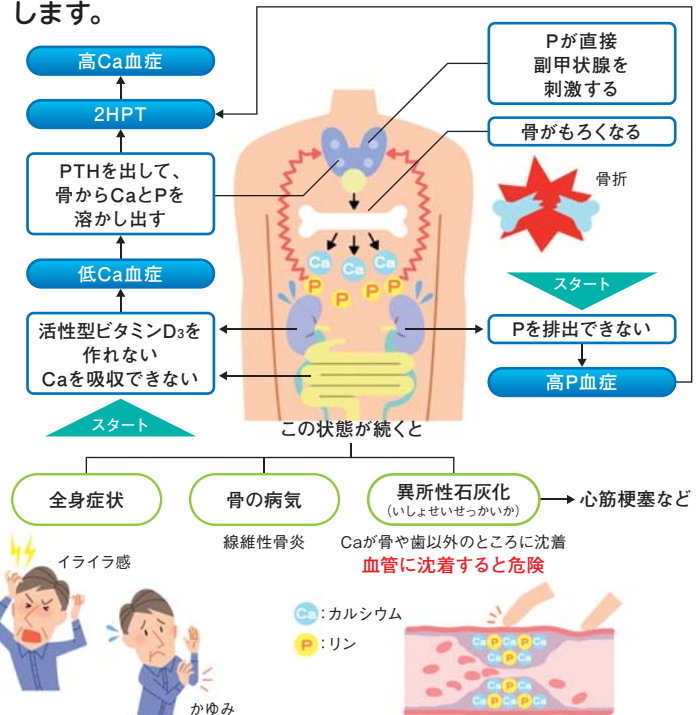
- いつもの時刻に飲み忘れた場合には、その日は服用せずに、翌日に1日量を服用してください。決して2日分(2回分)を一度に服用しないでください。  
▶ 誤って多く服用してしまった場合には、すぐに医師に連絡してください。

- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。



## 二次性副甲状腺機能亢進症(2HPT)になると

皮膚のかゆみ、イライラ感などの不快な症状があらわれるだけでなく、骨がもろくなったり、血管がかたくなったりします。



透析療法や食事療法、オルケディア®錠などの薬物療法により、PとCa、PTHのバランスを整えることが大切です。